

異文化理解サロン 「Back to school in Jamaica - 教育と子供の現状」

「違いで驚き、びっくりする」社会より「違いを受け入れる・活かす」と言う社会への転換を目指し、世界の様々な国の文化、習慣、現状、課題等について話を聞き、異文化に対する偏見をなくし、身近に触れ合う機会を府民に提供します。

外国人住民を講師として招き、自国の文化、社会、習慣、話題等についての講演及び交流・質疑応答・意見交換を通して異文化への理解を高め、地域の多文化共生に関心を持ってもらい、推進します。

日時： 2015年7月26日（日） 14:00～16:00

講師：

サニア・グリーン氏

（ジャマイカ出身、京都府立園部高等学校 AET）

内容：

参加者はまず、最初の30分でジャマイカと教育制度についてクイズに答えてみました。それに対して、講師が回答を教えながら、知識を深め始めました。次は、サニア氏が母国と日本を比べながら教育制度の概要を紹介してから、ジャマイカの家庭構成と生活、社会的なコミュニティや現在子供が直面している課題について話しました。最後に、支援のあり方（チャリティプロジェクト、団体や個人のレベルなど）について語りました。

講演後、Q&Aを行い、参加者が政府に対する支援要求の仕方、ジャマイカ家庭における結婚と子供の立場などについて聞きました。

本講座を英語で行いました。

会場： 京都府国際センター（京都駅ビル9F）

参加者： 28名

主催： （公財）京都府国際センター

アンケート結果：

- * 内容が豊かで、また、とても楽しい雰囲気の話の進行であった。
- * 貴重な現状を知ることができて、興味深かった。
- * ジャマイカの教育システム、「規律」の重要性についてよく理解できました。

講座の様子：



クイズを真面目に答える参加者

